

か 考える子
が がんばる子
や やさしい心の子
け 元気な子

学校だより

第 10 号



すがわら

令和8年2月
愛川町立菅原小学校
発行責任者 前盛 朋樹
電話 046-285-2794

自らの頭で考え、自ら行動できる子どもたちに！

校長 前盛 朋樹

この冬一番の最強寒波にも終わりが見え、季節を分ける「節分」が過ぎて暦の上では「春」となりました。この寒空の中、校門の両脇にある菅原小学校のシンボルツリー 紅白の梅の花は今年もきれいに咲き、登校日数が50日余りと短い3学期も、いよいよ折り返しを迎えます。

子どもたちは「縄跳び匂間」の取り組みで毎日休み時間グラウンドに出て、短縄跳びの練習に励んだりクラスで声を掛け合いながら長縄跳びに取り組んだりしています。今年、本校では、インフルエンザに加え、吐き気や嘔吐を伴う「おなかの風邪」も多く、3学期に入り学級閉鎖をするクラスも出ていますが、一人一人が自分で立てた目標に向かって取り組むことで体力を高め、友達と一緒にみんなで運動の楽しさを味わいながら、感染症に負けない元気な体づくりにつなげていきたいと思います。特に長縄跳びでは、「大丈夫！」「落ち着いて！」「ドンマイ！」「できるよ！」など、「がんばろう」という気持ちが湧いてくるような温かい声かけが、クラスの絆を深めています。

また、今年度は、5・6年生が福祉学習として「車いすバスケットボール体験」を行いました。はじめに、生活用の車いすとの違いや「車いすにとって大変な『段差』をどのように乗り越えるか」等、実際に見せていただきながら教えていただきました。そして、日本車いすバスケットボールアカデミーの方が競技用の車いすを10台お持ちくださったおかげで、全員が何度も車いすに乗って車いすリレーや車いすバスケットボールの試合を体験することができました。見ると実際に乗って操作するのは大違いで、やってみて初めて気づくこと、分かることがたくさん！体験前の説明を含め、子どもたちにも様々な気づきがあったことだと思いますが、だからこそ「体験する」ことの大切さを改めて感じました。最後に、「できることに挑戦することで、たくさんの失敗を経験し自分自身が成長できること」や「まずは、まわりの友達や仲間、大人も含め自分の身近な人たちを大切にしてほしい」とのメッセージをいただきました。車いすの方たちが困る「段差（バリア）」は物理的なものだけでなく、我々の心の中にもあるのではしようか。この学習を通して、世の中には様々な人が過ごしていることへの想像力が広がり、「自分にできること」を考えたり行動したりしながら、子どもたち自身や子どもたちを取り巻く我々大人から「思いやり」や「優しさ」が広がって、様々な人にとって過ごしやすい社会になるとともに、子どもたちが羽ばたいていく未来がますます温かな社会になっていくことを心から願っています。

次年度入学してくる新1年生の保護者説明会が行われる等、次年度に向けた準備も少しづつ始まっています。3学期の始業式や先日の朝会では、この3学期を、4月から進級する一つ上の学年の「O学期」と捉え、現学年のまとめをしながら、次の学年を意識して自らを「成長」させる機会にしてほしいと話しました。素直で子どもらしく、言われたことを素直に受け止め、行動できるのが、菅原っ子の強みです。さらに、自らの頭で考え、自ら行動できる子どもたちに成長してほしいと、願っています。今後とも、菅原小学校の教育活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願ひいたします。

6年生思い出遠足

6年 担任

小学校生活最後の遠足として、キッザニア東京へ行ってきました。子どもたちはこの日を心待ちにし、朝から笑顔で集合して期待に胸をふくらませて出発しました。

事前学習では、体験したい職業について調べ、友達と相談しながら回り方の計画を立てました。当日は、その計画をもとに積極的に職業体験に参加し、楽しみながら活動する姿がたくさん見られました。

また、友達とお昼ご飯を囲んで和やかに過ごしたり、バスの中で楽しくお話ししたりするなど、仲間との時間を味わう様子も印象的でした。

保護者の皆様には、朝早くから送り出していただき、誠にありがとうございました。



3月の主な行事予定

4日 (水)	登校班会議・下校指導	17日(火)	給食終了
5日 (木)	3年生情報モラル教室	19日(木)	卒業証書授与式
9日 (月) ～13日 (金)	学習室個別懇談	25日(水)	修了証書授与式

26日 (木) ～4月6日 (月) 春休み